

“保育園落ちたのは私だ!!”

この女性の声が政治を動かしています

—安心して働き、子育てできる政治願って—

「保育園落ちた……」。働くママがつぶやいた衝撃的なブログ。働く女性の怒りがストレートにつたわります。

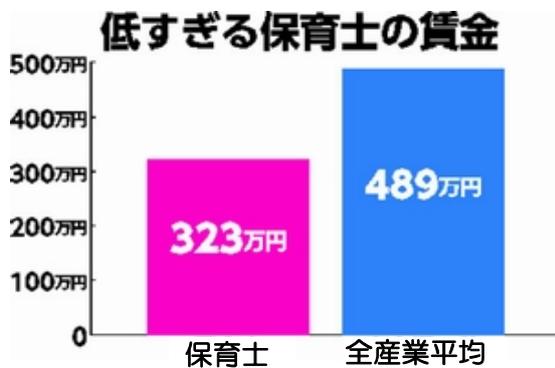
そして、「昨日、見事に保育園落ちたわ。どうすんだよ私活躍出来ねーじゃねーか」などと訴えた女性の怒り。この声が、いま、政治を動かしています。

「実際におこっているのか確認のしようがない」と国会で平然と答弁した安倍首相。直後、国会周辺には、「それは私だ！」のプラカードを持つ多くの男女の姿。あわてた安倍首相や自民・公明の与党は追加対策の検討をはじめました。

「育児休業はもう伸ばせません」「会社を辞めるしかない」。この乳幼児を抱える親の悲痛な叫びを放置することは許されません。国は、自治体任せにするのではなく、切実な願いの実現に、緊急措置も含め、抜本的な対策をおこなうべきです。



復職予定の親が、子どもを預ける保育所が確保できない事態は、死活問題なのに、平然とのべた安倍首相に、批判が起きたのは当然です。



“子どもは社会の宝” 悲鳴受け止め、打開する政治を

いま、国の施策によって、公立保育所は減り続け、賃金の安い保育士の人手不足は深刻です。

日本共産党は、公立認可保育所の増設・整備、保育士不足解消へ、国の責任による抜本的な処遇改善や正規職員化に全力を注ぐべきと考え、国会でも、政府に求め続けてきました。また、緊急対策として、「自治体による緊急保育の実施」「公立保育所の整備増設に、国による新たな財政支援」「保育所に入れず育児休業をとる母親への支援」など求めました。

安心して働き、子育てできる政治の実現に、ともに、力を合わせましょう。

参院埼玉選挙区予定候補
党県民運動委員長 **伊藤 岳**



安倍首相の対応は、とんでもありません。問題解決には、公立保育園の大幅増設と保育士の待遇の抜本的な改善が求められます。そのために全力を尽くします。

みなさんの声で、政治を動かす

日本共産党

日本共産党の見解を紹介します

あなたの声をぜひ、お寄せください。

日本共産党埼玉県委員会

☎048-658-5551 Web <http://jcp-sai.jp>

新埼玉

2016年3月号外 発行/日本共産党埼玉県委員会 さいたま市大宮区北袋町1-171-1 tel.048-658-5551